

のアルバム

▼8月6日 コミセンきたの



ミニハープと手作り楽器で交流会

野洲市ファミリー・サポート・センター（野洲市社会福祉協議会）の交流会・ミニ講習会が催され、親子など24人が参加されました。

この日のテーマは、「ミニハープの音色を聴いてみよう♪」。講師に細川英子さんを招き、細川さんの心安らくハープ演奏に会場全体がリラックスムードに包まれました。

また、牛乳パックやペットボトルを思い思いにデコレーションして手作りした楽器で子どもたちは、お母さんやまかせて会員[※]の皆さんと一緒に音楽を楽しみました。

細川さんは、「子育てはお母さんの心が豊かであることが大切。お子さんだけでなく、お母さんも心安らく機会になれば嬉しい。」と話してくださいました。

※まかせて会員とは、ファミリー・サポート・センター事業において、子育ての手助けをするため会員登録している市内在住の20歳以上の人のことです。現在、会員を募集されています。

平和を祈念しました

市では、戦没者を追悼するとともに、過去の悲惨な戦争の教訓を決して風化させることなく次世代に語り継ぎ、世界の恒久平和の実現をめざすことを目的として、「野洲市平和のつどい」を執り行いました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より規模を縮小し、一般参加を募らず関係者のみでの開催となりました。

当日は、65人が参列され、市長をはじめ参列者全員で献花を行い、恒久平和の実現をともに祈念しました。

▼8月5日 総合防災センター



▼7月15日 市役所



全国大会での活躍を！！

野洲キッドスポーツ少年団の皆さんが、野球のまち阿南第9回少年野球全国大会（7月24日～26日開催）および高円宮賜杯第41回全日本学童軟式野球大会（8月17日～22日開催）への出場報告に市役所を訪れました。

両大会には、多くの強豪チームが出場した県内の予選大会にチームプレーで勝ち抜き、滋賀県の代表チームとして出場されます。

主将の^{おがわいしん}小川惟心さん（五条）は、「全国大会で勝ち進み、野洲の名前を全国の人に知ってもらえるよう頑張りたい。」と力強く語ってくれました。

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(204)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

にほ(ぼ)はし 仁保橋の思い出

江戸（現 東京）に向かう朝鮮通信使の団は、小南村内を通り抜けると、次の休憩地である八幡（現 近江八幡市）を目前に、仁保川（日野川）が待ちうけていました。公式の外交使節団の通行に支障がでないよう臨時の仮土橋が築かれましたが、平常時は簡素な板橋が架けられていました。木材で組まれた仁保橋が設置されるのは、近代以降のことで、橋桁に丸太を敷き詰め（下写真矢印）、その上に筵が敷かれ、最後に土をならして路面が完成します。強度は増したものの、仁保川が氾濫するたびに、橋は流されました。昭和34（1959）年9月の伊勢湾台風の折も完全に押し流され、丸太は下流の野村橋でせき止められて、さらなる水害を引き起こしました。

ところで、天井川であった仁保川の堤防は、現在よりもっと高く築き上げられていました。古くは堤の中ほどの高さで橋が渡されていましたが、それでも大きな荷を乗せた大八車は、堤防の斜面を上り下りするのに苦心しました。当時の橋は子どもの格好の遊び場で、子どもたちは、駄賃欲しさに大八車を後ろから押す手伝いをしました。しかし、下肥（人や家畜の糞尿を肥料にしたもの）を運ぶ大八車が近づくと、蜘蛛の子を散らすよう逃げ去ったそうです。また、度胸試しに仁保橋の細い欄干の上を伝い歩く姿もよく見かけられ、うっかり川へ落ちた子もいたそうです。伊勢湾台風による流出後、鉄筋の橋が架けられ、近年の日野川改修工事ですらに仁保橋は生まれ変わりました。様相は大きく変わりましたが、今も昔も交通の要としてわたしたちの暮らしを支えています。

（市史専門調査員 江藤 弥生）



ありし日の仁保橋(昭和33年撮影・山本徳治郎氏提供)

■郷土史展「朝鮮人街道をたどる—絵図からみた街並みの変貌—」

開催中～10月3日(日)まで

※9月の休館日：月曜日(20日は除く)、14日(火)～16日(木)、21日(火)、24日(金)

※市民は入館無料(運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。)

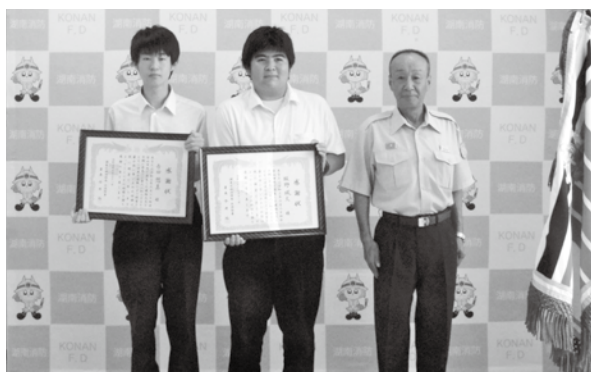
※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。



適切な判断で火災通報

6月24日夕方、守山市守山六丁目地先で発生した火災事案において、付近を通りかかった中学生の飯野颯大さん（行畑）、吉田想真さん（小篠原）が早期に火災を発見、通報したことにより、火災による被害を最小限に抑えることができました。その功績により、湖南広域消防局北消防署長から防災功労表彰が授与されました。

▼7月31日 北消防署



▲吉田さん（左） 飯野さん（中央）

卓球女子シングルス2連覇達成！

滋賀県障がい者卓球連盟所属の山口美也さん（六条）が、パラ卓球日本一を競うパラFIDジャパン・チャンピオンシップ卓球大会2021（6月12日・13日開催）に出場し、2年連続優勝されました。

今大会結果を含むこれまでの好成績により、パラリンピック出場に必要な日本FID卓球連盟の強化指定選手候補に選出されるなど、「日本代表として世界大会で活躍する」という山口さんの目標に近づいてきました。

目標まであと一歩！そして連覇おめでとう！

▼7月2日 市役所

